教育理念

ヒューマニティを基本とし
　看護の（実践的）知識
　看護の熟練した技術
　生命の尊厳と慈愛する心（精神）
を持つ、創造的看護師を育成する

教育目的

市立室蘭看護専門学院は、法律の定めるところにより、看護師としての知識・技術及び態度を習得せしめるとともに、社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

教育目標及び学年別到達目標

教 育 目 標	1　　学　　年	2　　学　　年	3　　学　　年
１．人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解し、生命の尊厳、人間愛を尊重することができる能力を養う。	1)人体の構造と機能について基礎的知識を持つ。 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合した存在であると理解できる。 3)生命の尊さや倫理を知ることができる 4)対象把握のための看護技術を理解し、実施できる。 5)基本である礼節をわきまえることができる	1)人間を身体的・精神的・社会的に統合した存在として捉えることができる。 2)健康障害がある対象に必要な看護の方法を理解し、実施できる。 3)対象と倫理的態度で接することができる。 4)良い人間関係を築く必要性を理解できる。	1)対象の身体的・精神的・社会的変化を理解し、問題解決のための看護を実施し、評価できる。 2)生命の尊厳を基盤に、人間としての権利を尊重した看護が展開できる。 3)社会人としてのマナーを身につける。
２．人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とのダイナミックな総合作用及び心身相関などの観点から理解する能力を養う。	1)看護の対象には、家族および地域で生活している人も含まれていることを理解できる。 2)対象の健康の状態や状況を理解し、共有しようとする姿勢を持つことができる。 3)対象の周囲にある危険に気づくことができる。	1)対象への看護実践を通して、対象に及ぼす影響について振り返ることができる。 2)看護実践を通して、対象の気持ちを考えることができる。	1)健康に関する課題を解決するための看護実践を通して、看護の対象が生活していく存在であることを理解できる。 2)対象の健康に影響する現象を分析・解釈・統合し、課題を抽出できる。 3)対象の健康の保持増進、疾病予防のためのセルフコントロールに必要な看護を実践できる。

３．専門職業人として、人々の多様な価値観を認識し、人間関係構築におけるコミュニケーション能力を高め、倫理と医療安全に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。	1)看護の主要概念を理解し、人間の多様な価値観や生活信条に気づくことができる。 2)自己理解・他者理解のためのコミュニケーション方法を理解できる。 3)学則など順守すべき内容を理解し、必要な行動がとれる。 4)生活の中にある倫理的課題に気づくことができる。 5)人間関係における効果的なコミュニケーション技術を理解し、学校生活で生かすことができる。 6)人間の基本的ニードを理解し、援助的人間関係における効果的なコミュニケーション技術を理解できる。 7)専門職業人として看護の質を追求する必要性を理解できる。	1)対象は多様な価値観や生活信条を持っていることを理解できる。 2)対象の個別性に応じた看護の必要性を理解できる。 3)学則など遵守する意義と、人間関係に及ぼす効果や影響を考えて行動できる。 4)医療安全に関する規則および看護実践に必要なガイドラインに従って行動できる。 5)人間の意思決定に関わる権利を尊重し、権利を擁護する意味を理解できる。 6)対象への看護実践を通して、援助的人間関係を形成できる。 7)専門職業人として、看護の質を追求し、援助に生かすことができる。	1)看護職が遵守すべき内容とその責務を理解し、必要な行動をとることができる。 2)倫理的問題場面に気づき、解決に向けて考えることができる。 3)対象との相互作用を活用し、看護を展開することができる。 4)対象に起こり得る状態および危険を予測し、医療安全のために必要な行動をとることができる。 5)対象に実践した看護をリフレクションして振り返り、看護の課題を見出すことができる。 6)専門職業人として、看護の質を追求し、看護実践を通して、自己の課題を発展させることができる
４.看護独自の機能を理解し、あらゆる発達段階・健康状態にある人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。	1)人間の基本動作を理解し、日常生活援助に必要な看護技術を実施できる。 2)対象との関わりから健康の状態や生活の状況に関する客観的・主観的情報を収集し、理解できる。 3)対象の健康上の課題を解決するために、基本的ニードを考慮した日常生活援助を実践できる。 4)対象に実践した看護をとおして、援助の意味を考えることができる。 5)学習の過程で生じた疑問を解決する姿勢をもって、自己の学習方法を工夫することがで	1)人間の誕生から死まで生涯各期の成長、発達の特徴を理解できる。 2)生涯各期の成長・発達を促進する看護の方法を理解し、実施できる。 3)対象への看護実践を振り返り、看護の課題を考えることができる。 4)健康課題に応じた生活の再構築や生活機能の維持・生活の質向上のための看護を実践できる。 5)必要な学習課題を自覚し、学習方法を確立できる。 6)対象に応じた看護を実践するために、理論	1)様々な発達段階や多様な健康課題を持つ対象を理解できる。 2)対象の健康に関する課題を解決し、個別性に応じた看護が実践できる。 3)対象に応じた根拠に基づく看護を実践するために、理論的知識や先行研究の成果を探索し、活用できる。 4)卒業後の進路を決定し、キャリアビジョンを描くことができる。 5)看護を学習していくことに誇りを持ち、発展的に学習を継続する姿勢を持つことができる。 6)これまでの学習を振り返り、文献を活用し

	きる。 6)自己の看護観を述べることができる。	的知識や先行研究の成果を探索し、実践に活用するための方法を理解できる。 7)自己の看護観を述べ、語り合うことができる。	ながら自己の看護観を深め述べることができる。
５．保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、その中における看護の役割を認識し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会資源を活用できるよう調整するための基礎的能力を養う。	1)日常生活・学校生活において、環境整備・健康管理ができる。 2)グループ活動の意義を理解し、グループでの学習体験をとおして自己表現ができる。 3)保健・医療・福祉に関する法律および制度が、人間の健康保持・増進の役割を担っていることを理解できる。 4)看護実践の場を体験し、看護師の役割に関心を持つことができる。	1)グループ活動ではリーダー・メンバーの機能を活用し、チームの一員として役割を遂行できる。 2)対象の健康保持・増進、生活の再構築の役割を担っている保健・医療・福祉に関する法律および制度を理解できる。 3)チーム医療における看護職・他職種に関わり、対象の健康障害に関する課題を理解できる。 4)医療安全に関する規則および看護実践に必要なガイドラインに従って行動できる。	1)保健・医療・福祉に関連する法律および制度におけるマネージメントの実際を理解できる。 2)チーム医療における看護職・他職種の役割を理解し、対象の看護実践に活用することができる。 3)看護実践に必要な関係法規を遵守し、対象に必要な看護を実践できる。 4)対象に起こり得る状態および危険を予測し、医療安全のために必要な行動をとることができる。